

「リーダー」を育む6か年デザイン

FILE 1

東京都・私立豊島岡女子学園中学校・高校

「志力」と「基礎力」を備えた 世界で輝く女性リーダーを育てる

◎探究学習での試行錯誤が、生徒を成長させる

東京都・私立豊島岡女子学園中学校・高校では、世界で起きている諸問題の解決に貢献できる女性の育成を目指している。教務部長の十九浦理孝先生は、こう語る。

「グローバルに活躍するためには、何よりも高い志を抱く力『志力』が必要です。また、社会への広い視野、協働性や粘り強さといった汎用的な資質・能力も、より重要になります。本校ではそれらを『基礎力』と位置づけ、『志力』とともに、全教育活動で育成を図っています」

その一環として、探究学習に力を入れている。例えば、「社会科シンポジウム」は教科融合型の取り組みであり、「捕鯨の是非」などの社会的なテーマについて、地理歴史・公民科や理科といった複数の教科の教師による講義を受けた後、生徒同士が話し合う。

また、中学3年生～高校2年生の希望者を対象とする「モノづくりプロジェクト」では、自分たちのアイデアを形にする。2018年度は、夏季休業中にチームで生物を模した飛翔体を製作し、9月に大学の研究者を審査員として招くコンテストを行う。同プロジェクト担当の田尾裕介先生は、次のように話す。

「成果物の完成度も大事ですが、同じ目標に向かってメンバーと力を合わせるという経験を重視しています。製作過程ではうまくいかないこともあると思いますが、試行錯誤する中で大変な思いをすればするほど、学びが深まり、意志や根気も育まれていくと考えています」



写真 高校1年次の探究学習では、物事を「深く考える」基礎を定着させることを目指す。そこで、工作用紙1枚を用いて、耐久性のある橋を作成するというモノづくりを行った。

- ◎設立 1892(明治25)年
- ◎形態 全日制/普通科/女子校
- ◎生徒数 1学年約270人(中学校)、約350人(高校)

- ◎建学の精神 「道義実践 勤勉努力 一能専念」
- ◎2018年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、東京大、京都大などに163人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大などに延べ928人が合格。
- ◎URL <https://www.toshimagaoaka.ed.jp>

◎生徒一人ひとりの成長を多面的・総合的に見取る

同校の探究学習は、以前は課外活動として希望者が行うものが多かった。そこで、全校体制で取り組めるよう、18年度にSSH(*1)の指定を受け、高校の授業で探究学習を進めることにした(写真)。SSH推進委員会主任の根岸靖先生は、こう述べる。

「3年間の探究学習の目的は、調べて得た知識を活用し、アウトプットする力を生徒に定着させることです。そこで、『科学的リテラシー』を様々な観点で学び、自ら深く学ぶ『探究』と自然とつながるようにしたいと考えています」

18年度には、あらゆる探究学習のeポートフォリオ化を進めるべく、「Classi」(*2)を導入。生徒一人ひとりの成長の可視化に力を入れていく考えだ。

「生徒には、探究学習を通して、夢中になれるものを見つけてほしいと思っています。そうなれば、生徒はさらなる高みを目指して挑戦を続けるため、本校が重視する『志力』『基礎力』両方が高まるでしょう。目標に向かって努力する生徒を多面的・総合的に見取することは、中学校・高校の次期学習指導要領の目指すところにもつながると考えています」(十九浦先生)



東京都・私立豊島岡女子学園中学校・高校
十九浦理孝 つづうら・まさたか

教職歴21年。同校に赴任して22年目。教務部長。教務部進路進学指導委員会主任。



東京都・私立豊島岡女子学園中学校・高校
根岸靖 ねぎし・やすし

教職歴29年。同校に赴任して30年目。SSH推進委員会主任。



東京都・私立豊島岡女子学園中学校・高校
田尾裕介 たお・ゆうすけ

教職歴8年。同校に赴任して7年目。

*1 文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール。

*2 株式会社ベネッセホールディングスとソフトバンク株式会社の合弁会社であるClassi株式会社が提供する、学校教育でのICT活用を総合的に支援するサービス。

少子化という社会課題、そして次世代リーダーの育成という時代からの要請に対応すべく、これまで以上に特色化が図られているのが、私立中高一貫校だ。今号から3回にわたって、変革を進める学校を取り上げ、次期学習指導要領の捉え方を含めた、私立中高一貫校が向かおうとしているその先を考える。

FILE 2

大阪府・私立高槻中学校・高校

世界を舞台に活躍できる「次世代リーダー」の育成

◎生徒が「ホンモノ」に触れて学ぶ場を設定

大阪府・私立高槻中学校・高校は、スクールミッションに「Developing Future Leaders With A Global Mindset」を掲げ、GL(グローバルリーダー)・GS(グローバルサイエンス)・GA(グローバルアドバンスド)の3コース制の下、「次世代リーダー」の育成を目指している(図)。重視する取り組みの1つが探究学習であり、コースに分かれる中学3年次から、各コースの特色に応じて本格化させる。工藤剛校長は、こう語る。

「国際社会で活躍するためには、知識・技能を十分に身につけた上で、それらを活用し、新しいものを創造できるようになる必要があります。そこで、SSHやSGH(*3)の指定を受け、課題研究を中心に、生徒が国際的な第一人者や一流の研究者・専門家と直接交流し、『ホンモノ』に触れることができる場を積極的に設けています」

さらに、同一法人である大阪医科大学とは、所属するコースにかかわらず、希望者を募って、夏季休業中の1週間、医師や看護師に同行して在宅医療の現場を見学する「地域医療体験」を行う。

「医療の現場で足手まといになることもあると思います

図 次世代のリーダーに必要な10の資質

個人の能力や思考

1. 全体を見渡して判断し、主体的に行動する力
2. 論理的に思考し、日本語および英語で表現する力
3. 自己管理能力
4. 創造性(知識や情報を発展的に活用する力)

他者との関係

5. 多様な他者を理解し思いやる力
6. コミュニケーション力
7. コラボレーション力(チームワーク)

社会や文化との関係

8. 国際社会の持続的発展や平和に貢献しようとする意志
9. 日本の伝統・文化を尊重する心
10. 倫理観

- ◎設立 1940(昭和15)年
- ◎形態 全日制/普通科/共学
- ◎生徒数 1学年約270人(中学校)、約250人(高校)

◎建学の精神 「国家・社会を担う人材の育成」

◎2018年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、東京大、京大などに148人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大などに延べ519人が合格。

◎URL <https://www.takatsuki.ed.jp>

が、真の成長には、失敗や苦勞が欠かせません。本校では、生徒に困難な状況を経験させることも学校の大切な役割と位置づけ、全コースで取り組みを工夫しています。生徒には、その中から自分が興味のあるものに挑戦してほしいと考えています。また、多様な経験を通して学びを深められるよう振り返りを重視し、『Classi』を活用したeポートフォリオに蓄積させています」(工藤校長)

◎全校体制で取り組むという文化を構築

教師の多様なアイデアを募れるよう、校内の組織編成も工夫している。その1つとして設けられた部署が、新規教育プログラムの立案などを行う「教育推進企画室」だ。教職歴や分掌にかかわらず、希望すれば誰でもメンバーになれるため、教科や分掌の垣根を超えた企画を生み出すことができる。ほかにも、生徒がSGHの課題研究でより幅広いテーマを設定できるよう、「SGH推進部」のメンバーには、地理歴史・公民科の教師も加えている。

「全教師が協働しやすい体制を整えることで、探究学習を始めとする教科横断的な取り組みも、一層充実していくでしょう。そうなれば、『次世代』リーダーに不可欠な広い視野の涵養につながり、本校のスクールミッションの実現に近づきます。また、高校の次期学習指導要領で学ぶ最初の学年である19年度中学1年生を迎える準備として、教員が次期学習指導要領のポイントを把握するための研修を計画しています。学習指導要領はその時々々の社会のニーズを反映しているため、その理解を深めた上で、私学として、本校のスクールミッションを実現させる具体的なルートを策定していくことが大切であると考えています」(工藤校長)



大阪府・私立高槻中学校・高校校長

工藤 剛 くだう・つよし

教職歴29年。同校に赴任して30年目。進路指導部長、教頭、副校長を経て、2018年度より現職。

* 3 文部科学省のスーパーグローバルハイスクール。